

# 飯能市国民健康保険 第2期保健事業実施計画（データヘルス計画） 第3期特定健康診査等実施計画

「日本再興戦略」（平成25年6月14日閣議決定）を受けて、平成26年4月に国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針の一部が改正され、保険者は、健康・医療情報を活用してPDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るため、保健事業実施計画（データヘルス計画）を策定し、実施および評価を行うものとされました。

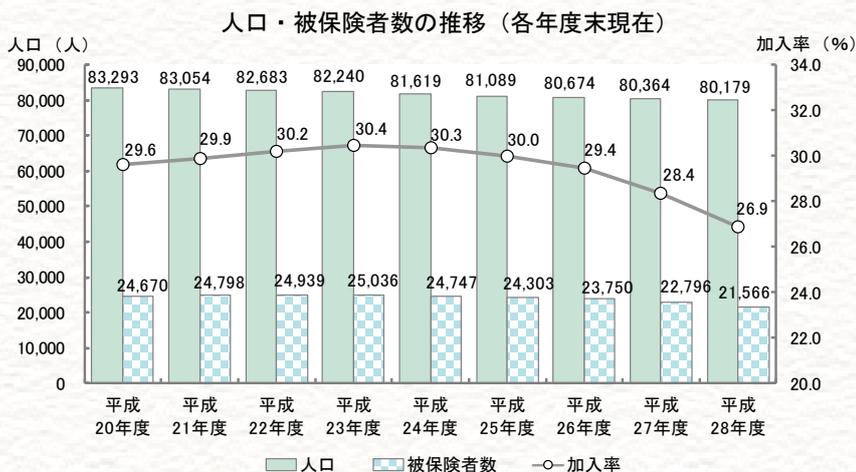
飯能市においては、これまでも健康増進や生活習慣病の発症・予防などの保健事業に取り組んできました。さらに、効果的かつ効率的な保健事業を実施するため、「第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）・第3期特定健康診査等実施計画」を平成30（2018）年度から平成35（2023）年度までの6年間で計画期間として策定しました。

## 飯能市を取り巻く現状

### 国民健康保険被保険者の概況

国民健康保険の被保険者数は、平成23年度をピークに減少に転じています。これは、75歳になり、後期高齢者医療制度に移行する人が増えたためと思われます。

平成28年度末の国民健康保険被保険者数は21,566人、市全体の人口に対する加入割合（加入率）は26.9%となっています。



資料：国民健康保険事業状況報告書

### 平均寿命と65歳健康寿命

平成27年の平均寿命では、男性は80.5年で県平均より0.2年高く、女性は86.5年で県平均より0.1年高くなっています。

平成27年の健康寿命において、男性が17.47年で県内第19位、女性が19.98年で県内第35位となっています。県内では男性は平均より上位に位置していますが、女性は平均を下回っています。

平均寿命と65歳健康寿命（平成27年）

	平均寿命				65歳健康寿命			
	男性	県内順位	女性	県内順位	男性	県内順位	女性	県内順位
飯能市	80.5年	20位	86.5年	20位	17.47年	19位	19.98年	35位
埼玉県	80.3年		86.4年		17.19年		20.05年	

資料：埼玉県衛生研究所「健康指標総合ソフト」（平成28年度版）

※ 65歳健康寿命とは、単なる生存ではなく、生活の質を考慮し、「あと何年、自立して生きられるか」を示した期間のことです。埼玉県では、65歳に達した人が、「要介護2以上」になるまでの平均的な年数を算出しています。

# 被保険者の健康・医療情報の分析

## 医療費の状況

被保険者1人当たり医療費の推移を見ると、平成27年度までは年々増加しており、平成25年度から平成28年度にかけて、約5.8%増加しています。

平成28年度の1人当たり医療費は、埼玉県が262,367円、飯能市が280,498円となっており、1人当たり18,131円飯能市が高くなっています。

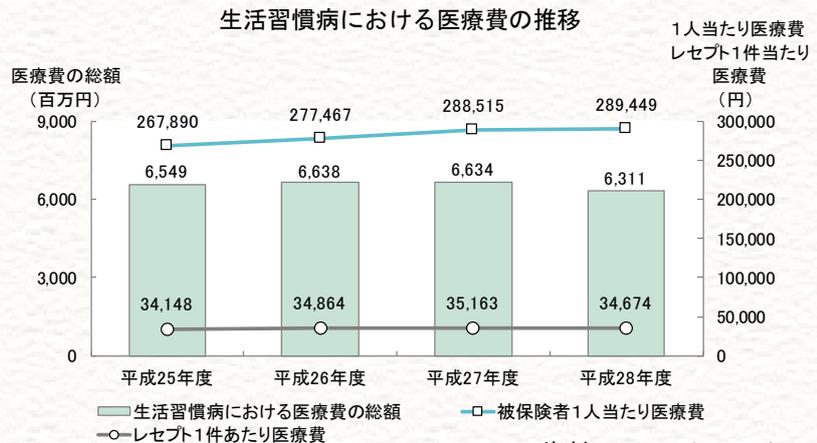


1人当たり医療費（歯科医療費を除く）



資料：KDBシステム

生活習慣病の医療費及びレセプト1件当たり医療費の推移を見ると、医療費の総額はやや減少傾向にあり、平成28年度で63億1,100万円となっています。一方で、被保険者1人当たり医療費は増加傾向にあり、レセプト1件当たり医療費は、ほぼ横ばいとなっています。



資料：KDBシステム

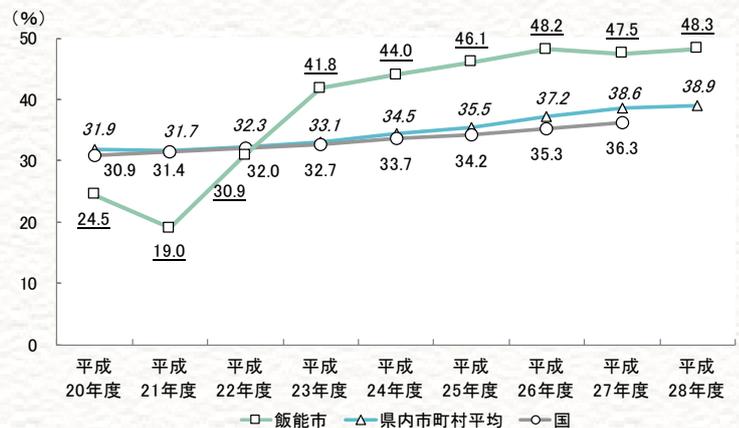
## 特定健康診査の状況

### 特定健康診査の実施状況

特定健康診査の受診率の推移を見ると、年々上昇傾向にあり、平成28年度では48.3%と県内市町村平均を上回っています。これは、受診期間の延長や受診勧奨事業の強化等により受診率の向上が図られたためと考えられます。しかし、飯能市特定健康診査等実施計画第2期計画の目標である60%には達していません。



特定健康診査の受診率の推移



資料：法定報告

### 特定健康診査等の取組の状況

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
対象者等	40歳～74歳（75歳到達者を含む）・費用無料									
実施形態	飯能地区医師会と連携 個別健診 4月～12月				飯能地区医師会と連携 個別健診 4月～翌年3月					
周知方法	個別通知・広報紙掲載									
受診勧奨	未受診者に電話勧奨、はがき勧奨									
実施体制上の取組	検査項目にクレアチニンと尿酸を追加									
	医師会と連携し、診療情報提供事業実施									
	糖尿病性腎症重症化予防事業実施									

資料：飯能市保険年金課

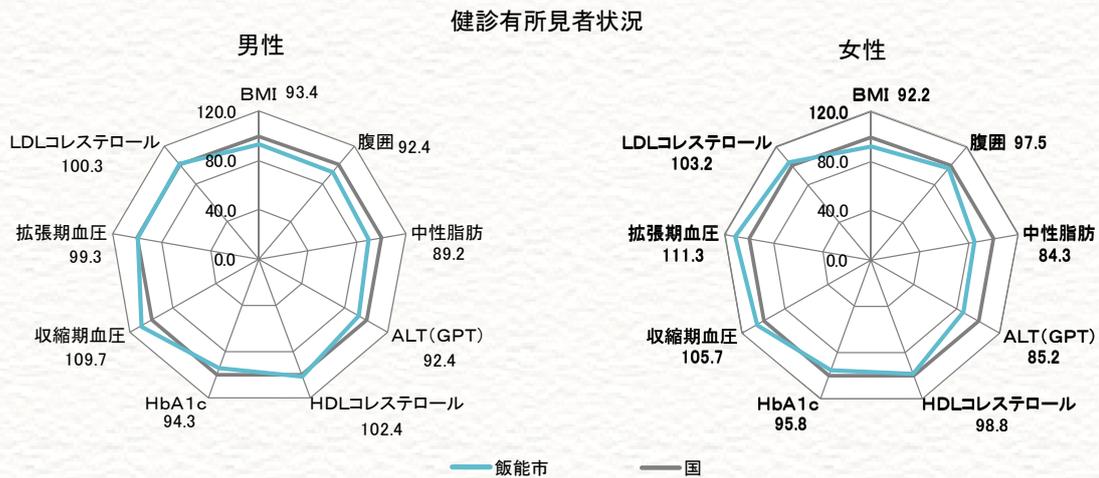
## 健診結果の状況

### 健診結果リスクの状況

平成28年度の特定健康診査の結果、基準値を超えた人の割合について年齢調整を行い、全国を基準の「100」としたときの飯能市の比率について男女別に比較しました。

全国と比較すると、男女ともに、「BMI」、「中性脂肪」、「HbA1c」については低い人が多くなっています。また、男性の「腹囲」、女性の「ALT (GPT)」は低い人が多くなっています。

一方、男女ともに「収縮期血圧」の高い人が多く、女性は「拡張期血圧」も高い人が多くなっています。



資料：KDBシステム

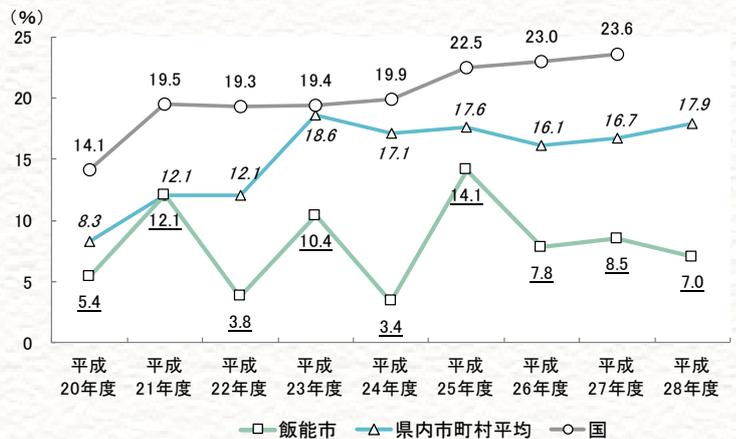
## 特定保健指導の状況

### 特定保健指導の実施状況

特定保健指導の実施率は、平成20年度の開始当初から隔年で高低を繰り返していましたが、近年は全国や県内市町村平均を大きく下回る結果となっています。



特定保健指導実施状況の推移



資料：法定報告

### 特定保健指導の取組の状況

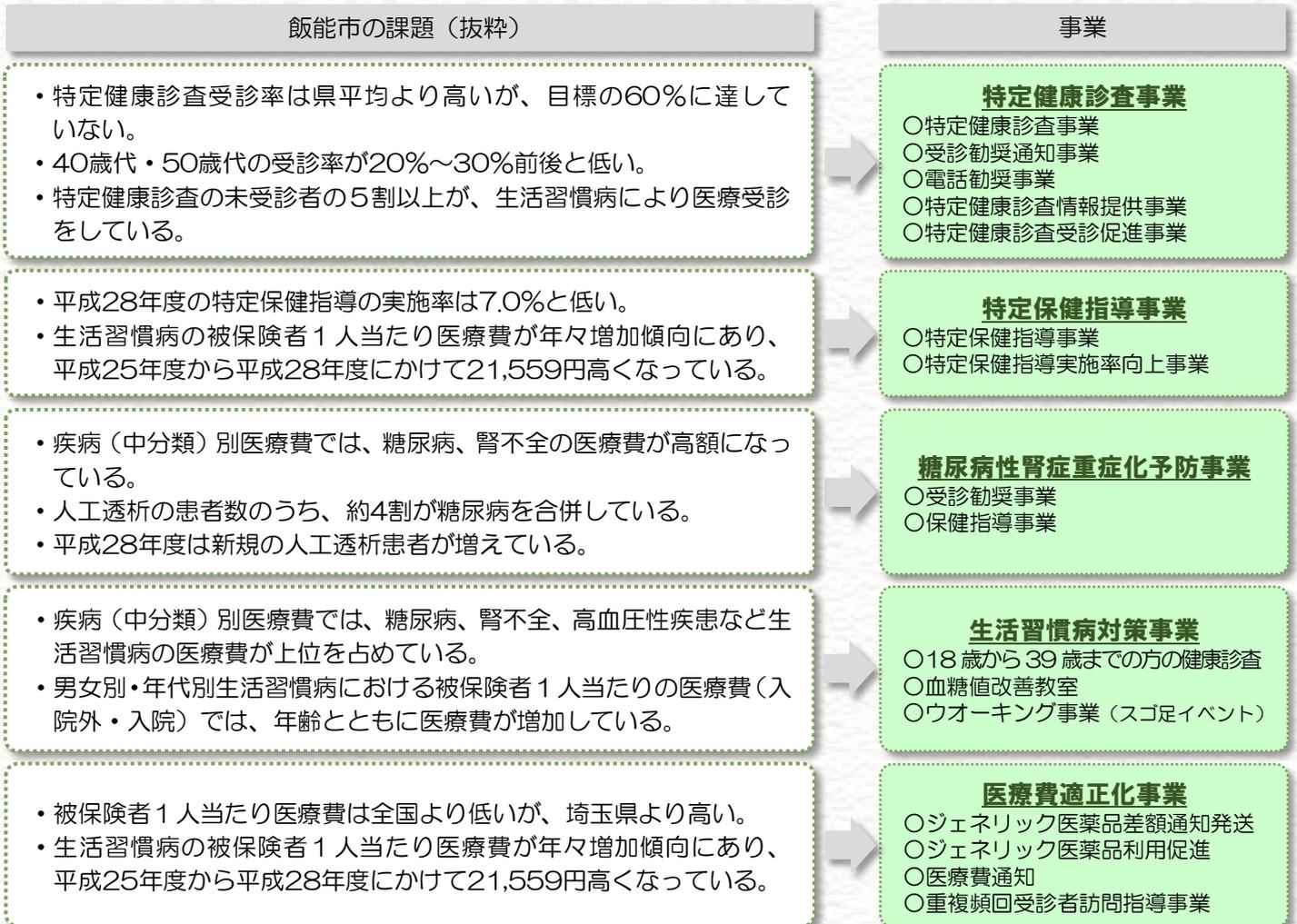
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
対象者等	40歳～74歳（75歳到達者を含む）・費用無料				
実施形態	飯能市で実施（直営） 4月～翌年3月				
周知方法	個別通知				
利用勧奨	未利用者に電話、通知、訪問による勧奨				
実施体制上の取組	情報提供レベル（非肥満）要医療者への受診勧奨				埼玉医大との共同研究事業（脱メタボ！チャレンジ）※ インセンティブ事業

※平成32年度までの共同研究事業

資料：飯能市健康づくり支援課

## 主な保健事業の取組（5つの事業）

本計画の目的を達成するため、前期計画の振り返りと特定健康診査の結果やレセプト等のデータ分析から課題を整理し、5つの事業に取り組みます。



## 特定健康診査・特定保健指導の目標値

区分	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
特定健康診査受診率	50%	52%	54%	56%	58%	60%
特定保健指導実施率	20%	30%	40%	50%	55%	60%

## 計画の推進

円滑な事業実施を図るため、庁内の保健衛生部門・介護部門等の関係部署はもとより、埼玉県や埼玉県国民健康保険団体連合会、飯能地区医師会、飯能地区歯科医師会、飯能地区薬剤師会等と連携して取り組んでいきます。また、保健事業の内容は、健康・医療情報や各事業の実施結果等を用いて評価し、必要に応じて実施体制等を見直します。

飯能市国民健康保険  
 第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）  
 第3期特定健康診査等実施計画 【概要版】  
 発行年月 平成30年3月  
 編集・発行 飯能市健康福祉部保険年金課  
 電話 042-973-2111（代表）  
 ファックス 042-973-2120  
 Eメール hoken@city.hanno.lg.jp  
 ホームページ <https://www.city.hanno.lg.jp>

